

環境防災学講座 平成 23 年度修了生からのメッセージ

千葉伸一， 社会人特別選抜学生，
現所属：応用地質（株）エンジニアリング本部



1. 環境防災学講座での修士研究について

- ・会社で行っていた土木的な対策を目的とした調査設計（ハード対策）から離れて、講座では危機管理や警戒避難（ソフト対策）についてしっかりと研究できた。
- ・砂防分野のソフト対策の経緯から土砂災害警戒情報の現況および課題まで、データ分析やヒヤリングにより網羅的に把握できた。
- ・修士研究と並行して行った、国総研との共同研究成果が国土交通省の検討会で使用され、研究活動を通じて（少しではあるが）国の防災事業に貢献できている実感を持てた。

2. 環境防災学プログラムについて

- ・国交省砂防部局の第一線で活躍されている方々、自治体の防災部局の方々、そして通常ではお会いすることもできないようなご高名な先生のお話を直接聞くことができた。
- ・自分が今まで関わってきた業務について行政や事業での位置づけの理解が深まり、関連分野を広く学ぶことで専門分野がより生きる。
- ・講義で知りえる最新の国の施策や動向を、所属会社にフィードバックできた。

3. 現在、会社で役に立ったと実感できること

- ・会社の砂防（+治山）の部署に配属され、砂防事業に深く関わる事ができている。
- ・砂防事務所の打合せで、砂防堰堤の設計打合せの内容を理解できるようになった（入学前は砂防関連の業務にはほとんど関わっていなかったため）。
- ・砂防事業全体を見据えた提案ができるようになった。

4. その他感想

- ・講座の立ち上げから講義・ゼミの運営など、一期生として講座を作り上げる過程に関わって貴重な経験になった。

5. 後輩に期待すること

- ・社会人は一緒に、一般学生はぜひこの業界に入って頂いて、防災事業を共に担ってゆきたい。